

公益財団法人天文学振興財団
平成28年度事業報告
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1. 研究支援事業の概要

定款第4条に沿った公益目的事業を展開しました。

平成28年度の支援事業としては、以下のとおり[1]国際研究支援事業として、[1]-(2)国際交流に対する助成2件、[1]-3-1 国際研究集会開催に対する助成4件および[1]-3-2 国際研究集会参加に対する助成14件 合計20件並びに[2]普及・啓発支援事業に対する12件助成を行いました。

[1] 国際研究支援事業

[1]-1 研究に対する助成

(単位：円)

公募	申請件数	申請額	助成件数	助成額	辞退件数	不採択件数	備考
第1回公募	0	0	0	0	0	0	
第2回公募	2	1,951,120	0	0	0	2	
第3回公募	1	1,000,000	0	0	0	1	
小計	3	2,951,120	0	0	0	3	

[1]-2 国際交流に対する助成

第1回公募	1	109,350	1	109,000	0	0	
第2回公募	1	234,210	1	183,000	0	0	
第3回公募	0	0	0	0	0	0	
小計	2	343,560	2	292,000	0	0	

[1]-3-1 国際研究集会開催に対する助成

第1回公募	1	596,000	1	254,190	0	0	助成額 400,000円 返納額 145,810円
第2回公募	2	1,400,000	2	724,000	0	0	
第3回公募	1	63,080	1	63,000	0	0	
小計	4	2,059,080	4	1,041,190	0	0	

[1]-3-2 国際研究集会参加に対する助成

第1回公募	12	2,267,897	7	845,000	3	2	早川幸男基金採択2件 辞退金額 339,000円 返金1件 金額63,000円
第2回公募	7	1,429,670	4	554,000	0	3	
第3回公募	3	629,460	3	542,000	0	0	
小計	22	4,327,027	14	1,941,000	3	5	

合計	31	9,680,787	20	3,274,190	3	8	
----	----	-----------	----	-----------	---	---	--

[2]普及・啓発支援事業

(単位：円)

公 募	申請件数	申請額	助成件数	助成額	辞退件数	不採択件数	備 考
第1回公募	10	1,694,708	8	913,280	0	2	
HawaiiConに参加	1	250,000	0	0	0	0	
アジアの星	1	480,000	1	353,280	0	0	
日江井栄次郎	1	547,570	1	300,000	0	0	
星のソムリエ@西宮	1	48,043	1	30,000	0	0	スター・ウィーク2016
尾鷲市立天文科学館	1	100,000	1	50,000	0	0	同上
ライトダウンin広島	1	50,000	1	50,000	0	0	同上
秋田大学教育文化学部	1	30,805	1	30,000	0	0	同上
山中温泉ゆけむり倶楽部	1	64,000	1	50,000	0	0	同上
坂下星見の会	1	50,000	1	50,000	0	0	同上 助成額計260千
天空の山之村キャンプ場	1	74,290	0	0	0	0	同上
第2回公募	4	3,059,511	4	2,168,002	0	0	
ラテンアメリカIAU	1	301,511	1	268,000	0	0	
ハワイ地元への教育普及	1	1,000,000	1	800,002	0	0	
天文学オーラルヒストリ	1	758,000	1	600,000	0	0	
Data to Dome Workshop	1	1,000,000	1	500,000	0	0	
第3回公募	0	0	0	0	0	0	
合計	14	4,754,219	12	3,081,282	0	2	

[1]+[2] 国際研究支援事業並びに普及・啓発支援事業

(単位：円)

公 募	申請件数	申請額	助成件数	助成額	辞退件数	不採択件数	備 考
国際研究支援	31	9,680,787	20	3,274,190	3	8	
普及・啓発支援	14	4,754,219	12	3,081,282	0	2	
合計	45	14,435,006	32	6,355,472	3	10	

1. 平成 28 年度研究支援事業の詳細

[1] 国際研究支援事業

国際研究支援事業の助成は以下のとおり。

[1]-1 研究に対する助成

第1回公募（申請：0件、助成：0件）申請額計： 0円【助成額計： 0円】
第2回公募（申請：2件、助成：0件）申請額計：1,951,120円【助成額計： 0円】
第3回公募（申請：1件、助成：0件）申請額計：1,000,000円【助成額計： 0円】
申請：3件、助成：0件 申請額総計： 2,951,120円【助成額総計： 0円】

[1]-2 国際交流に対する助成

第1回公募（申請：1件、助成：1件）申請額計： 109,350円【助成額計：109,000円】
第2回公募（申請：1件、助成：1件）申請額計： 234,210円【助成額計：183,000円】
第3回公募（申請：0件、助成：0件）申請額計： 0円【助成額計： 0円】
申請：2件、助成：2件 申請額総計： 343,560円【助成額総計：292,000円】

[1]-2 第1回公募

① 柴橋 博資（東京大学 教授）

渡航目的：(1) アジア特に発展途上にある東南アジアにおいて天文学・宇宙科学教育を充実させていかねばならない。ベトナムにおける天文学・宇宙科学教育は未だ萌芽期にあり、大学院で天文学の最先端研究は自力では行うことができない。このため本サマースクールは2013年から毎年開催されており、申請者は講義の主担当の一人として招待されている。

(2) 第4回ベトナムサマースクール「恒星物理学」の講義。

渡航期間：H28/7/30～H28/8/6

渡航先：ベトナム クイニョン

助成額：1件 109,000円

[1]-2 第2回公募

② 中島 王彦（European Southern Observatory 日本学術振興会海外特別研究員）

渡航目的：Keck 望遠鏡を使用して、遠方の暗い小質量星形成銀河の深い分光観測。

渡航期間：H28/10/5～H28/10/15

渡航先：アメリカ合衆国 ハワイ州ワイメア・W.M. Keck Observatory

助成額：1件 183,000円

国際交流に対する助成：計 2件 292,000円

[1] - 3 国際研究集会開催および国際研究集会参加に対する助成

1. 国際研究集会開催に対する助成

第1回公募（申請：1件、助成：1件）申請額計： 596,000円【助成額計：254,190円】

第2回公募（申請：2件、助成：2件）申請額計： 1,400,000円【助成額計：724,000円】

第3回公募（申請：1件、助成：1件）申請額計： 63,080円【助成額計：63,000円】

申請：4件、助成：4件 申請額総計：2,059,080円【助成額総計：1,041,190円】

[1] - 3-1 第1回公募

① 峰重 慎（京都大学 教授）

研究集会名：第3回ユニバーサルデザイン天文教育研究会～教材研究ワークショップ

研究集会の目的：「ユニバーサル」な天文教育・普及活動を「共に」進めるための考え方や具体的な方策を、事例報告、研究・教育者、障害者、障害者支援の方々との間の対話、そしてワークショップ実践を通じて深めて、世界へ発信し、世界と連携することを目的とする。

開催期間：H28/9/24～H28/9/26

開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 大セミナー室他

助成額：1件 254,190円

[1] - 3-1 第2回公募

② 川端 弘治（広島大学 准教授）

研究集会名：The 6th Subaru International Conference in Hiroshima: Panoramas of the Evolving Cosmos

研究集会の目的：すばる望遠鏡の広域観測によって目覚ましい進展を見せている天文学分野における最先端の研究成果を、世界の第一線で活躍する研究者間で広く共有・認識するとともに、2020年代に向けて進むべき方向を議論すること。若手研究者に対して海外の研究者と密接に議論・交流する機会を設けて、新たな国際共同研究の種を育むこと。日本初の技術によって開発・運用されるすばる望遠鏡の成果を国内外に広くアピールすることで、日本国内の天文学をはじめとする科学技術の評価を高めることを目的とする。

開催期間：H28/11/28～H28/12/2

開催場所：広島国際会議場

助成額：1件 500,000円

③ 巽 敏隆（京都大学大学院理学研究科 助教）

研究集会名：Quarks and Compact Stars 2017 (QCS2017)

研究集会の目的：中性子星天体現象の包括的な理解のために、素粒子・原子核物理、天体物理、物性物理といった関連分野の研究者が学際的に連携することで、様々な視点から議論を行う。さらに、現時点での到達点と今後に向けた課題を東アジアの研究者間で共有すること

を目的とする。

開催期間：H29/2/20～H29/2/22

開催場所：京都大学基礎物理学研究所

助成額：1件 224,000円

[1] - 3-1 第3回公募

④ 亀野 誠二 (国立天文台 教授)

研究集会名：Black Hole Astrophysics with VLBI: Past, Present, and Future

研究集会の目的：電波天文学をリードして来られた井上充先生の業績を振り返るだけでなく、取り組んで来られた科学分野でどのような成果が得られ、どのような発展が期待できるかを議論する場とすることと、各分野の代表する方々を招き、レビューと展望を講演することを目的とする。

開催期間：H29/3/27～H29/3/29

開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 大セミナー室

助成額：1件 63,000円

国際研究集会開催に対する助成：4件 1,041,190円

2. 国際研究集会参加に対する助成

第1回公募（申請：12件、助成7件）申請額計：2,267,897円【助成額計：845,000円】

第2回公募（申請：7件、助成4件）申請額計：1,429,670円【助成額計：554,000円】

第3回公募（申請：3件、助成3件）申請額計：629,460円【助成額計：542,000円】

申請：22件、助成：14件 辞退：3件申請額総計：4,327,027円【助成額総計：1,941,000円】

[1]-3-2 第1回公募

① 土屋 智恵 (国立天文台 研究支援員)

渡航目的：Meteorids2016 研究会で「Correction effect to the radiant dispersion in case of low and high velocity meteor showers」と題したポスター発表を行う。

渡航期間：H28/6/5～H28/6/11

渡航先：オランダ ノールトウェイク European Space Research and Technology Centre

助成額：1件（1名）104,000円

② 藤本 桂三 (東京大学 特任研究員)

渡航目的：11th Annual International Conference on Numerical of Modeling of Space Plasma Flows (ASTRONUM-2016) 国際会議に参加し、「Large-scale dynamics of collisionless magnetic reconnection with particle-in-cell simulation」のタイトル

での招待講演を行う。

渡航期間：H28/6/5～H28/6/12

渡航先：アメリカ合衆国 モントレー

助成額：1件（1名）153,000円

③ Bell, Aaron ベル アーロン（東京大学大学院理学系研究科 博士2年）

渡航目的：Anomalous Microwave Emission Workshop 2016 ワークショップに参加し、研究成果のポスター発表を行う。

渡航期間：H28/6/20～H28/6/27

渡航先：ESA/ESTEC, Noordwijk, South Holland, The Netherlands

助成額：1件（1名）107,000円

④ 満田 和真（東京大学大学院理学系研究科 博士2年）

渡航目的：SPIE Astronomical Telescopes + Instrumentation 会議に参加し、研究成果のポスター発表を行う。

渡航期間：H28/6/25～H28/7/4

渡航先：Edinburgh International Conference Center, Edinburgh, United Kingdom

助成額：1件（1名）225,000円

⑤ Stamer, Rorsten シュターマ, トルステン（名古屋大学大学院理学研究科 博士3年）

渡航目的：Star Formation in Different Environments 国際会議に参加し、研究成果のポスター発表を行う。

渡航期間：H28/7/21～H28/8/8

渡航先：Quy Nhon, Vietnam

助成額：1件（1名）80,000円

⑥ 押上 祥子（工学院大学 講師）

渡航目的：The AOGS (Asia Oceania Geosciences Society) 13th Annual Meeting 会議に参加し、研究成果のポスター発表を行う。

渡航期間：H28/8/3～H28/8/6

渡航先：China National Convention Centre

No.7 Tianchen East Road, Chaoyang District, Beijing 100105 China

助成額：1件（1名）67,000円

⑦ 國友 正信（名古屋大学 研究員）

渡航目的：Star formation 2016 研究会に参加し、研究成果のポスター発表を行う。

渡航期間：H28/8/20～H28/9/3

渡航先：英国、デヴォン州、エクセター大学

助成額：1件（1名）109,000円

[1]-3-2 第2回公募

⑧三好 真（国立天文台 助教）

渡航目的：IAU Regional Meeting 会議に参加し、研究成果の口頭発表を行う。

渡航期間：H28/10/1～H28/10/10

渡航先：コロンビア共和国 カルタヘナ

助成額：1件（1名）257,000円

⑨高橋 博之（国立天文台 特任助教）

渡航目的：East Asia Numerical Astrophysics Meeting 2016 研究会に参加し、研究成果の口頭発表を行う。

渡航期間：H28/10/23～H28/10/28

渡航先：中華人民共和国 北京

助成額：1件（1名）74,000円

⑩杉山 孝一郎（茨城大学 産学官連携研究員）

渡航目的：The 9th East Asia VLBI Workshop 2016 (EAVW2016) 研究集会に参加し、研究成果の口頭発表を行う。

渡航期間：H28/11/6～H28/11/12

渡航先：中華人民共和国 貴州省貴陽市

助成額：1件（1名）42,000円

⑪鈴木 建（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

渡航目的：Cosmic Rays, astrophysical turbulence, and magnetic reconnection 研究集会に参加し、招待講演を行う。

渡航期間：H28/12/3～H28/12/12

渡航先：ブラジル連邦共和国 ナタル

助成額：1件（1名）181,000円

[1]-3-2 第3回公募

⑫柴田 一成（京都大学大学院理学研究科 附属天文台 教授 台長）

渡航目的：SCOSTEP/ISWI International Space Science School (ISSS) 国際スペース科学スクールに出席し、招待講演を行う。

渡航期間：H28/11/7～H28/11/17

渡航先：Sangli, Maharashtra, India

助成額：1件（1名）222,000円

⑬森 寛治（東京大学大学院理学系研究科 修士1年）

渡航目的：14th Russbach School on Nuclear Astrophysics 研究集会に参加し、研究成果の口頭発表を行う。

渡航期間：H29/3/11～H29/3/18

渡航先：オーストリア Russbach

助成額：1件（1名）171,000円

⑭白方 光（北海道大学大学院理学院 博士1年）

渡航目的：QUASARS AT ALL COSMIC EPOCHS 研究会に参加し、研究成果の口頭発表を行う。

渡航期間：H29/4/1～H29/4/9

渡航先：Centro Culturale altinate san gaetano, Padova, Italy

助成額：1件（1名）149,000円

国際研究集会参加に対する助成：計 14件（14名） 1,941,000円

国際研究支援事業助成：合計 20件 総額 3,274,190円

[2] 普及・啓発支援事業

普及・啓発支援事業の助成は以下のとおり。

第1回公募（申請{スターウィークは除く}：3件、助成：2件）

申請額計：1,277,570円 【助成額計：653,280円】

（スター・ウィーク 申請：7件、助成：6件）

申請額計：417,138円 【助成額計：260,000円】

第2回公募（申請：4件、助成：4件）申請額計：3,059,511円 【助成額計：2,168,002円】

第3回公募（申請：0件、助成：0件）申請額計：0円 【助成額計：0円】

申請：14件、助成：12件 申請額総計：4,754,219円 【助成額総計：3,081,282円】

[2] 第1回公募

① 事業名：国際天文年アジア共同プロジェクト「アジアの星の神話・伝説」

(略称：アジアの星プロジェクト)

An IYA Asian collaboration project “Asian Myths and Legends of Stars and Universe” (Stars of Asia)

申請団体名：世界天文年「アジアの星」プロジェクト国内ワーキンググループ

申請責任者：海部 宣男 (国立天文台 名誉教授、国際天文学連合前会長)

申請内容：上記の会合参加に係る旅費の助成支援

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

実施場所：国立天文台三鷹キャンパス 会議室

(実施概要)

- ・第41回「アジアの星プロジェクト」ワーキンググループ会合出席旅費
開催日：H28/6/17 (金) 開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 第三会議室
参加者：海部宣男 以下14名
支援額：1件 (2名) 59,520円
 - ・第42回「アジアの星プロジェクト」ワーキンググループ会合出席旅費
開催日：H28/9/2 (金) 開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 第三会議室
参加者：高田裕行 以下12名
支援額：1件 (2名) 59,520円
 - ・第43回「アジアの星プロジェクト」ワーキンググループ会合出席旅費
開催日：H28/11/11 (金) 開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 第三会議室
参加者：海部宣男 以下11名
支援額：1件 (3名) 88,000円
 - ・第44回「アジアの星プロジェクト」ワーキンググループ会合出席旅費
開催日：H29/1/13 (金) 開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 第二会議室
参加者：海部宣男 以下12名
支援額：1件 (2名) 58,240円
 - ・第45回「アジアの星プロジェクト」ワーキンググループ会合出席旅費
開催日：H29/3/27 (金) 開催場所：国立天文台 三鷹キャンパス 第二会議室
参加者：海部宣男 以下11名
支援額：1件 (3名) 88,000円
- 助成額：1件：会合参加支援計：353,280円(会合5回開催、参加者計60名、助成支援延12名) (助成上限額480,000円以内)

② 事業名：「理科の教室と宇宙を結ぶプロジェクト」

Project for uniting science class rooms and space

申請責任者：日江井 榮二郎（国立天文台・東京大学・明星大学名誉教授）

申請内容：国内の小・中学校で、科学的根拠に基づいた内容の出前授業を行い、学校の理科教室と最先端の宇宙研究を結び付けることを目的とする。具体的な内容としては太陽や訳性の様子を球面に立体的に表示するプロジェクションマッピングを用いての解説や天体望遠鏡の扱い方や活用方法の紹介を行う。

実施期間：2016年7月～2017年3月

実施場所：国内各地（気仙沼市・郡山市・宮古島市・対馬市）の小・中学校

助成額合計：1件 300,000円

○スター・ウィーク2016 協力イベントに対する助成 ③～⑩ 計 7件

全体主催：スター・ウィーク実行委員会

開催期日：平成27年7月～8月

協力イベント：

③ 事業名：2016夏「星空案内in西宮ガーデンズ」

主催者：星のソムリエ@西宮

開催地：西宮市阪急西二宮ガーデンズ4F 開催日：平成28年8月6日（土）

内容：夏の星の観望会、星空ヴァイオリン演奏会、星空クイズ、神戸大学天文研究会による手作りプラネタリウム投影会

助成額：1件 30,000円

参加者：プラネタリウム投影会：約140名 観望会：100名以上

④ 事業名：「七夕星まつり」

主催者：尾鷲市立天文科学館

開催地：尾鷲市中村町10-40 尾鷲市立天文館 開催日：平成28年7月29日（金）

内容：親子での天体観望会、天文クイズ、星釣りゲーム

助成額：1件 50,000円

参加者：121名

⑤ 事業名：「ライトダウン in 東広島 2016」

主催者：ライトダウン東広島2016実行委員会

開催地：東広島市立西条小学校 開催日：平成28年7月31日（日）

内容：西条市街地域店舗・事業所等への一時ライトダウンの呼びかけ、天文・公害クイズ、星空鑑賞、望遠鏡での天体観望

助成額：1件 50,000円

参加者：253名

- ⑥ 事業名：「太陽系をもっと身近に感じてみよう！-『太陽系図 2014』の見方と太陽と月、5大惑星の観察と演習」

主催者：秋田大学教育文化学部天文台

開催地：秋田市手形学園 1-1 秋田大学教育文化学部天文台

開催日：平成 28 年 8 月 6 日（土）

内 容：天文講演会、太陽と月・5大惑星の観察、天文サイエンスカフェ

助成額：1件 30,000円

参加者：92名

- ⑦ 事業名：STARWEE K2016「親子星空観察会プラス」

主催者：山中温泉ゆけむり倶楽部

開催地：加賀市山中温泉健民体育館駐車場、山中児童センタープラネタリウム室

開催日：平成28年8月6日（土）・7日（日）

内 容：星と音楽の集い、星空観察会、辻森樹博士による講演会

助成額：1件 50,000円

参加者：250名

- ⑧ 事業名：「みんなで流れ星を見よう」

主催者：坂下星見の会

開催地：亀山市関町沓掛 鈴鹿馬子唄会館、鈴鹿峠自然の家

開催日：平成 28 年 8 月 12 日（金）

内 容：流れ星観察、天体観察、流れ星を中心とした天文講座、天体写真展示

助成額：1件 50,000円

参加者：約 100 名

スター・ウィーク 2016 協力イベント助成：計 6 件 260,000円

参加者合計：約延 1056 名

第 1 回公募の助成：計 8 件 913,280 円

[2] 第 2 回公募

- ⑨ 事業名：「ラテン・アメリカ地域によるIAU天文学ワークショップ」

Latin American IAU Regional Meeting-LARIM2016

申請責任者：Ishitsuka Jose イシツカ ホセ（ペルー地球物理研究所 ワンカイヨ

観測所 所長

実施内容：第15回ラテン・アメリカ地域によるIAU天文学ワークショップに参加し、ペルーで立ち上げている32m電波望遠鏡の状況と機能を発表する。また、ボゴダでのプラネタリウムでの三鷹3Dシステムの設置等の講習会を行う。

実施期間：(1)2016年10月3日～2016年10月7日
(2)2016年10月11日～2016年10月12日

実施場所：(1)コロンビア カルタヘナ市
(2)コロンビア ボゴダ市

助成額：1件(1名)268,000円

⑩ 事業名：「イミロア天文学センターの出前天文学授業によるハワイ地元への教育普及活動」

Astronomy Education for High School Students in Hawaii with Imiloa Mobile Outreach Program

申請責任者：マーガレット シバ Margaret Shiba (Director of Institutional Advancement)

実施内容：マウナケア・スカラー・プログラムに参加するハワイ島及びオアフ島の5つの高校において、天文学の出張授業を行うことにより、マウナケア・スカラー・プログラムに参加する高校生を触発し、マウナケア・スカラー・プログラムをより充実したものにするを目的とする。
また、イミロアの出前授業では、現代天文学に加え、ハワイ古来の天測航法についても詳しく取り上げ、生徒たちに現代天文学とハワイ文化のつながりを肌で感じさせ、現代科学と伝統文化の融和を図る。

実施期間：2016年12月～2017年1月

実施場所：アメリカ合衆国 ハワイ州ハワイ島 ワイアケア高校、ホノカ高校
アメリカ合衆国 ハワイ州オアフ島 カボレイ高校、ナナクリ高校、カラニ高校

助成額：1件 800,002円

⑪ 事業名：「天文学者へのオーラルヒストリーによる現代日本天文学史の基礎調査」

Oral history to astronomers for history of Japanese modern astronomy

申請責任者：高橋 慶太郎 (熊本大学 准教授)

実施内容：戦後の日本の天文学を牽引してきた方々への系統的なインタビューを行う。昨年度まで進めてきた活動をさらに発展させる。これまでインタビューを行ってきた人々にさらに回数を重ねて深く話を聞くとともに、インタビュー対象を増やしてより多面的な角度から現代天文学史を俯瞰する。

実施期間：平成28年21月～平成29年3月

インタビュー対象者：海部宣男、川口市郎、小暮智一、杉本大一郎

インタビュアー：浅井歩、小久保英一郎

助成額：1件 600,000円

⑫ 事業名：「データ・ツー・ドーム・ワークショップ」

Data to Dome Workshop

申請団体名：データ・ツー・ドームワークショップ実行委員会

申請責任者：佐伯 昌市（国立天文台 特別客員研究員）

実施内容：3月2日～3日は、国立天文台三鷹において招待講演者の講演、ソフトウェアのデモ、データセットの可視化作業をグループワークで実施する。グループワークで作成された試作等は、国立天文台4D2Uドームシアターにて表示し、討論と評価を行う。

ビッグデータの可視化のうち特にドーム映像・全天周映像に焦点をあてて高度な可視化技術の習得を目的とする。研究成果が速やかにプラネタリウムドームに上映され、天文学普及・啓発促進されることを目指す。

実施期間：(1)平成29年3月2日～平成29年3月3日

(2)平成29年3月5日～平成29年3月7日

実施場所：国立天文台三鷹キャンパス 大セミナー室、4D2Uドーム

助成額：1件 500,000円

第2回公募の助成：計・4件 2,168,002円

普及・啓発支援事業助成：合計12件 総額 3,081,282円

2. その他の事業

国立天文台三鷹キャンパス特別見学会の開催

平成28年7月24日（日）国立天文台三鷹キャンパスにおいて、14:30～19:30までの間、天文学レクチャー、4D2U、施設公開見学ツアー、50センチ公開望遠鏡天体観望会の特別見学会を開催いたしました。当日は晴天に恵まれ暑い中での実施であったが、参加者122名全員何事もなく盛況裡に終了できたことに感謝の意を表します。

なお、次年度も特別見学会並びに出張講演会等を賛助会員企業と相談のうえ実施することとします。

以下に概要を報告します。

三鷹キャンパス特別見学会の報告

開催日時：2016年7月24日（日）13:00（集合）、14:30～19:30（見学会開催）

開催場所：国立天文台三鷹キャンパス

賛助会員企業（株式会社ニコン、三菱電機株式会社、富士通株式会社、キヤノン株式会社、
浜松ホトニクス株式会社、日本通信機株式会社、大成建設株式会社、公益社団法人日本測量協会）

開催日時：2016年7月24日（日）13:00（集合）、14:30～19:30（開催）

開催場所：国立天文台三鷹キャンパス

28年7月29日集計

	社名	招待券配布	参加者	備考
1	株式会社ニコン	30枚	14名	
2	三菱電機株式会社	30枚	6名	
3	富士通株式会社	40枚	34名	
4	キヤノン株式会社	40枚	39名	
5	浜松ホトニクス株式会社	20枚	16名	
6	日本通信機株式会社	30枚	13名	
7	大成建設株式会社	20枚	0名	
8	公益社団法人日本測量協会	20枚	0名	
	計	230枚	122名	出席率53%

イベント参加者

イベント	15:00 ～ 15:30	15:00 ～ 16:00	15:00 ～ 16:25	16:00 ～ 16:30	16:30 ～ 17:25	16:30 ～ 17:30	17:00 ～ 17:30	18:00 ～ 18:30	18:30 ～ 19:30	計
天文学 レクチャー			第1回 35名		第2回 40名					75名
4D2U	第1回 38名			第2回 39名			第3回 21名	第4回 35名		133名
施設公開 見学ツアー		第1回 12名				第2回 14名				26名
天体観望会									45名	45名
計	38名	12名	35名	39名	40名	14名	21名	35名	45名	延279名

国立天文台三鷹キャンパス特別見学会アンケート集計

平成 28 年 7 月 24 日（日）開催した「国立天文台三鷹キャンパス特別見学会」は、参加 6 社 122 名、21 名の方々より下記のとおりアンケート回答（複数回）がありました。

- ・4D2U は、素晴らしかった。 （7 名）
- ・4D2U は、今まで見たことがないものだったので、とても興味深かった。宇宙の姿を体感でき、説明が分かり易かった。蚊が多かったので、招待状などに長袖長ズボン等と注意書きがあると良い。 （1 名）
- ・4D2U は、とても綺麗で良かった。説明も分かり易く、特に距離感がすごくびっくりするくらいであった。子供はとても喜んでいたので、ちょっと遠かったけれど、来て良かった。 （1 名）
- ・4D2U の立体的な宇宙に感動した。機会を作ってまた来たい。 （1 名）
- ・おもしろく、たのしく、すこしむずかしかったけれど、べんきょうになった。
（小学生 2 名）

- ・林台長の講演は、興味深く、楽しかった。 （7 名）
- ・林台長の講演会の案内が見あたらなかったのので、不便であったのので、改善してください。講演は満足でした。少し時間を費やして TMT の話もききたかった。
（1 名）

- ・イベント間の時間が短いため、次のイベント時間を気にしていた。もう少し、ゆっくりと見学できるように時間を組んでいただけると更に楽しめたと思う。
（3 名）
- ・色々なイベントに参加したが、スケジュールが忙しかった。 （1 名）

- ・歴史あるドーム、望遠鏡、観測機器等、多数の資料があり興味深く、楽しかった。説明も分かり易く、良かった。 （5 名）

- ・また、訪れたい。感謝のお礼 （18 名）

支出額

謝 金（特別見学会業務支援 8 名）	89,096 円
消耗品費（飲料水他）	31,914 円

以上